

令和5年度 市長記者会見 発言要旨

令和6年1月4日(木)開催分

- < 開催時間 > 11:00~11:45
- < 会場 > 庁議室(市役所本館3階)
- < 会見案件 > 新年の抱負
- < 出席者 > 市長、総務部長、危機管理監

< 発表内容 >

【福井市長】

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

まずは、1月1日に起きた令和6年能登半島地震について述べたいと思います。

石川県能登半島を中心に大きな被害が出ており、亡くなられた方々に心からのお悔やみ申し上げます。また被災された方々にお見舞いを申し上げます。まだ余震が続いていますが、一日も早く復旧することを願っています。

本市の状況ですが、本市では震度5弱の地震を観測し、津波警報が発令されたため、16時22分、直ちに災害対策本部を設置いたしました。その後、16時45分に避難所を開設を指示し、19回ほど防災情報無線での避難を呼びかけ263名の方が避難いたしました。結果としては、具体的な被害はなく避難所閉鎖をすることになり、大変安堵いたしております。

人的被害としては軽症の方が2名、施設の被害については、アオッサの天井の一部崩落がありましたが、市民生活に支障が出るような被害はなく、本当に胸をなでおろしております。

能登半島への人的な派遣として、県の要請に応じて、緊急消防援助隊5隊21名、1月2日12時に給水車1台3名、1月3日12時に被災建築物応急危険度判定員2名、1月4日午前7時に避難所運営の交代要員として珠洲市に1名派遣いたしました。また、福井銀行市役所支店の普通預金の口座を設け、義援金の受け付け窓口を設置しています。1階の出納課でも直接受け付けの窓口も設置いたしております。窓口につきましては、この記者会見が終わり次第、ホームページに掲載する段取りをしています。以上が能登半島地震における大まかな福井市の対応状況です。

続きまして新年の抱負に移りたいと思いますが、1月1日から震災があり、慌ただしく年が明けたと私自身実感いたしております。ただ、3月16日には新幹線福井開業になり、その後の桜マラソンなど、待たなしの状況です。

まずは3月16日を契機として、新しい福井のスタートが切れるよう準備をし、今年1年しっかりと市政運営に取り組んでいきます。

わたしは、福井は「楽しい・安心・元気なまち」といった三つのキーワードを掲げて、これまでの施策を継続しながら、

自分のビジョンを進めていきたいと思っています。

一つ目の「楽しいまち」についてです。

開業日の3月16日、翌17日にはハピテラス、観光交流センター、ハピリンホール、中央公園の4つの会場を拠点に開業イベントを繰り広げたいと思っています。それに続き、翌週のふくい桜まつりは、例年通りではありますが、福井の春を彩るものとして、観光誘客に繋げていきます。福井駅東口に重点を置き、ライトアップを通して、新幹線を降りた方に楽しんでいただきたいと思います。

また、3月31日には、ふくい桜マラソン2024が開催されます。桜まつりと合わせて、福井が注目を浴びるビッグイベントになると思っており、しっかりと準備を進めているところです。イベントを成功させ、福井のイメージアップにつなげていきます。福井市民の皆さん、来福された皆さんに大いに楽しんでいただきたいと思います。

まちなかのにぎわい創出に向け、再開発事業の継続的な支援をしていきます。先般、B街区の起工式も行われ、B街区でもいよいよ再開発事業が始まります。今後予定している南通りの再開発支援も行っていきます。まちの形として、新しい福井が生まれる感覚を持っていただきたいと思います。

福井県とともに整備している恐竜モニュメントにつきましては、駅東側に福井市として、恐竜のモニュメント設置の準備を着々と進めております。新幹線の開業までに、しっかりとした形にしたいと思います。

また、まちなかの再生ファンドを活用して、自主的にまちを再生していこうという方々を支援していきます。

加えて、佐佳枝ポンプ場に整備中の足羽川アクティビティセンターを拠点に足羽川を活用したアクティビティ空間を県とともに整備していきます。

ふくみちにつきましても、まちなかのにぎわいの一つとして、本格運用を行い、中心市街地を訪れる方に十分楽しんでいただきたいと思います。

目的地までのルート検索や観光情報なども組み込まれている「ふくいMapSアプリ」をリリースし、福井を訪れた方の利便性を良くします。また、スマイルバスのEV化を進め、新幹線の開業と同時期の走行を計画しています。

加えて、移動時間も楽しんでいただくため、人気声優による車内放送を全4ルートに拡充していきます。

福井に来て楽しかったねと言っていたいただくためにも、観光資源の磨き上げ、誘客プロモーションの強化にしっかりと取り組んでまいります。

次に「安心なまち」についてです。

妊婦から出産、子育てと連続してサポートしていくために、4月1日から子ども家庭センターを設置し、こどもまんなか社会の実現を目指します。子ども未来部については、条例の制定が必要になるため若干後になります。

女性活躍の一方で、貧困や女性特有の悩みを持っている方々のサポートを行っていきます。また、福祉総合相談室「よりそい」の体制も充実させていきます。

安心して生活していただくためには、インフラ整備も非常に大切です。福井市は平坦な地形のため、浸水治水対策を着実に実施し、強靱なまちづくりにつなげていきます。

また、原油価格・物価高騰に対する支援については、引き続き市民生活に影響が出ないように支援していきます。

市立図書館、新クリーンセンター、九頭竜中学校といった市民生活に密着した公共施設の整備を行っているところで、市立図書館は、地域みんなで育てていく図書館というコンセプトで、地域交流センターを併設し、ゼブレディという環境にも配慮した建物になります。今まで取り組んできた大型公共施設の整備を引き続き進めていきます。

三つ目「元気なまち」についてです。

産業政策が中心となりますが、農林水産業で言うと、福井銀行と共同で進めているふくいヒトモノデザイン株式会社を中心に販路拡大に努めていきます。

ふくいヒトモノデザイン株式会社は、金福すいかを豪華客船飛鳥Ⅱで取り扱っていただく糸口を作っていただいたこともあり、国内のみならず海外市場にも展開していきたいと思っています。

企業誘致もさることながら、企業のDXを活用した生産者性向上の取り組みにも支援をしていきます。

また、働き手不足、人口減少の問題については、若者のUIターンを促進し、就職を支援していきます。具体的にはUITターンで戻ってくる方に、奨学金返済のサポートをしていきたいと考えております。

しっかりとビジョンに沿った形で、庁内でしっかりと議論を重ね、具体的な取り組みにつなげていきたいと考えております。いいスタートダッシュを切り、目に見える形で市民の皆様の信頼を得られるような行政運営に努めていきますので、職員や市民の皆様にもご理解、そしてお協力をお願いいたします。

以上、私の新年の抱負とさせていただきます。

<質疑応答>

【福井新聞】

地震によるアオッサ天井の一部崩落について、復旧の目途が立っていれば教えてください。

【福井市長】

具体的な復旧の目途については、まだ聞いておりません。

エレベーターが稼働しており、利用者への大きな影響はありませんが、早急に復旧できるように県の財産活用課と協議を行っているところです。

【福井新聞】

市立図書館でも一部天井の崩落があったとお聞きしています。整備中の建物の中で、地震の影響による完成目標の遅れが見込まれるものはありますか。

【福井市長】

今建設中の建物の中で被害の報告を受けているのは市立図書館だけです。竣工時期や開館時期に全く影響はないと現場の方から聞いております。

【福井新聞】

A 街区などの新幹線開業に向けたおもてなし体制の整備に向けても影響はないという認識でよいですか。

【福井市長】

おもてなしは人がやることですので影響はないとおもいます。概括的に見れば、市民生活が大きく変わったわけではありません。被災地に対する支援はしっかりと行い、回復を願う気持ちは言うまでもありませんが、今回の地震が新幹線福井開業に向けてのおもてなしにはほとんど影響しないと思っています。

再開発事業についても、影響が出ているという報告を受けていないので、3月16日にはマリオットホテルが開業すると考えています。

【福井新聞】

被災地への支援について、応援人員の派遣をされていますが、今後さらなる支援の考えがあれば教えてください。

【福井市長】

今道路が寸断されてなかなか被災地へ物が届いていない状況ですが、被災地の復旧にはいろいろなものが必要になってきます。民間の方から申し出のあった食料等の支援を、福井県を通じて石川県と協議させていただき、一挙に物資を送るよりも、現地の要望に沿った形で、計画を立てて支援をしていくのが一番いいのかなと考えています。

人的な派遣については福井県が各市町に応援を呼びかけており、その形が一番合理的かなと思っています。

消防の応援は県の要請がある前に隊を出発させており、走っている途中で、行き先等、県の要請に応える形を取りました。福井市としては、何をすべきか、何に困っているのかをしっかりと把握し、迅速に対応していきたいと思っています。

【NHK】

4月1日から子ども家庭センターの設置を目指すとのことで、今までと何が違っていくのか教えてください。

【福井市長】

変わったという形を見せることが大事だと思っています。

組織を変えるにはある程度の時間が、支援事業を行うには予算が必要になってきます。子ども家庭センターができることでどう変わるかというよりも、一定のそのプロセスを踏んだ結果としてセンターがあるということを見せていくことが大事だと思っています。予算付けし、時期を決めて進め、新しい組織の考えをしっかりと情報提供していきたいです。

【NHK】

子ども家庭センターがどんな場所になるかとかどんな場所にしたいか教えてください。

【福井市長】

場所については、複合的な要素があるので、明確には申し上げませんが、子ども家庭センターをつくることは間違いないので、場所についてはもう少しお待ちいただきたいです。

相談業務が中心になると思いますが、妊娠、出産、子育てとそれぞれで窓口が変わるのではなく、ワンストップといった形でサポートできる体制にしたいと思っています。

【NHK】

年末の会見では白紙だとおっしゃっていた副市長の人事は現在どのような状況でしょうか

【福井市長】

白紙ではなく、ドラフトをかけ始めているといった感じです。

1月1日の地震の時に副市長にいてほしいと思ったので、わたしのビジョンに理解を示して、災害対策や組織のことをしっかりとやっていただける方になっていただきたいです。議会の同意事項なので、慎重に行いたいと思っています。

【中日新聞】

今回の災害を通して、福井市で見えてきた災害対応への課題や感じていることがあればおしえてください。

【福井市長】

地震に限って言うと、学校や公民館等の人が集まる施設、避難場所になっている場所については、耐震補強はすでに終わっています。本市で観測された震度5弱は、結構な揺れだと思いますが、市民生活に支障が出なかったのは、ある程度インフラ基盤が整備されている裏返しでもあると考えています。

ただ、もっと大きな地震になると、どうなるかわかりませんが、今まで進めてきた耐震、水道の整備などは従来からの考え方を進めていく必要があると思っています。

16時20分に、災害対策本部を立ち上げ、19回防災無線で避難を呼びかけたときには、わたしは危機管理課にいました。職員の意見を聞きながら指示しましたが、断続的に避難を呼びかけ、現場との連絡をしっかり取るなど、きちんとした考えのもとに動く必要があるということを改めて感じました。

【FBC】

新幹線開業日のイベントの内容等について、現時点で決まっていることがあれば教えてください。

【福井市長】

中央公園では市民向けのイベントになると思います。具体的にはまだ固まっていますが、ステージイベントなど市民の皆さんをお呼びできるような雰囲気づくり、新幹線が来たことをお祝いしましょう、といったようなことを考えています。観光交流センターでは、新幹線乗り場から見える観光交流センターの屋上に何らかの形で歓迎ムードを盛り上げることを考えています。ハピテラスでは、めでたい時にみんなで喜びをわかちあおうということで、お菓子をまくということも面白いかなと思っています。ハピリンホールでは、恐竜のショーを企画しています。新幹線開業は非常にめでたいことですし、みんなでお祝いすることで今後の勢いをつけていくと思うので、なるべく盛大に楽しくできたらと思っています。

【福井新聞】

避難所について、石川の珠洲市や七尾市などでは、避難所の規定の人数よりも多くの方が避難している状況です。避難所の受け入れ体制等について、今後確認していかなければいけない課題等があれば教えてください。

【福井市長】

ニュースでしか見ていないのですが、今回は帰省中の方がたくさんいたため、想定を超える避難者がいたのかなと思います。福井市では、基本的には小学校の体育館を避難所としているほか、場所によっては公民館も避難所になっています。津波警報で保育園に自主避難されている方もいました。防災無線の内容も避難所に避難してくださいというのではなく、高台に避難し命を守って欲しいと呼びかけました。国見地区は公民館が高台に移転したので、小学校よりも公民館の方が避難所に適しているということもあり、避難所については地域の特性を見ながら考えていく必要があると思っています。

避難所の数は阪神淡路大震災の時の基準に基づいて決めているので、想定の人数を超えた場合どのように対応していくかは相談しなければならないと思っています。

【危機管理監】

避難してくる人たちを受け入れられるよう、第一次避難所の人数が膨れ上がった場合、二次三次の避難所を順に開いていくという方針です。今回は津波による避難だったので、まずは命を守る行動ということで、高台へ避難して欲しいということをお知らせしました。

【福井市長】

災害の種類に応じて臨機応変に対応できるような形にしていきたいと思っています。

【福井新聞】

会見のスタイルについて、東村前市長は座りながらでしたが、今回からスタンディング方式で、モニターを使いながらの説明という形に変わりましたが、スタイルの変化に込めた思いを教えてください。

【福井市長】

画面を見ていただきながらの方がわかりやすいと思いこの形にしました。モニターを使用するにあたり、座ったままだと説明しにくいので、立って説明することにしました。今後もこのスタイルでやっていきたいと思っています。